

NTT DATA

# 2025年3月期 第2四半期 決算説明資料

2024年11月6日 株式会社NTTデータグループ

# INDEX

1. 2025年3月期 第2四半期実績
2. 日本セグメントの状況
3. 海外セグメントの状況
4. 全社共通取り組みの状況
5. 巻末資料 -決算・業績予想値の詳細-

## ご注意

- ※ 本資料に含まれる将来の予想に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、内外の経済や情報サービス業界の動向、新たなサービスや技術の進展により変動することがあります。従って、当社グループとして、その確実性を保証するものではありません。
- ※ 本資料に掲載されているサービス及び商品等は、当社グループ各社あるいは他社等の登録商標または商標です。

# 1

## 2025年3月期 第2四半期実績

### 1. 2025年3月期 第2四半期実績

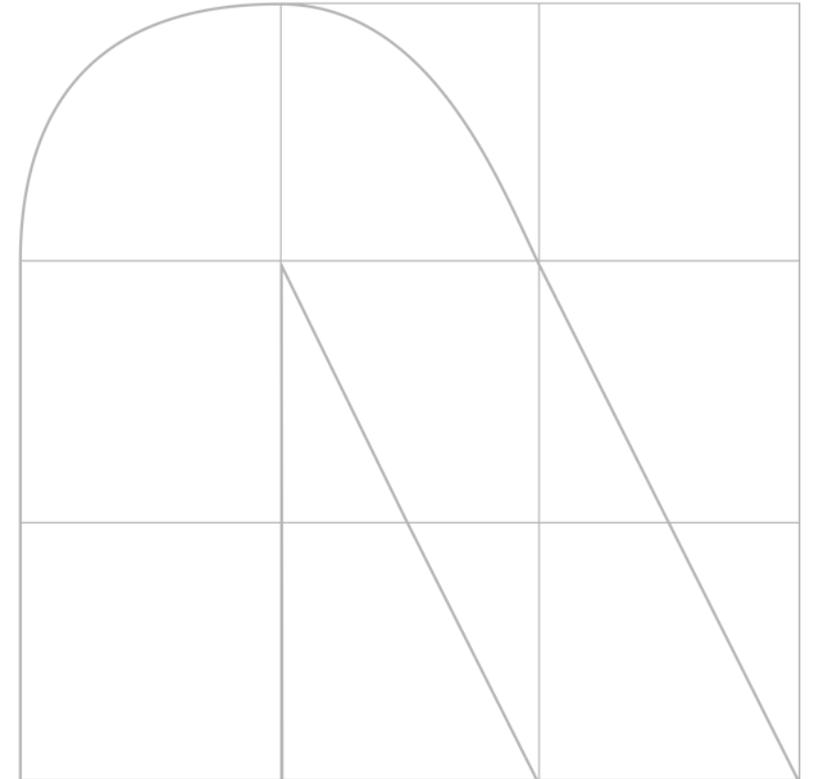
- 2025年3月期 第2四半期実績（前期比増減概要）
- 受注高 | 増減内訳
- 売上高 | 増減内訳
- 営業利益 | 増減内訳
- 海外セグメントの業績内訳

### 2. 日本セグメントの状況

### 3. 海外セグメントの状況

### 4. 全社共通取り組みの状況

### 5. 巻末資料



# 2025年3月期 第2四半期実績（前期比増減概要）

- ・ 対前年度増収・増益
- ・ 通期業績予想に対して順調に進捗

（単位：億円）

	2024年3月期 第2四半期実績 (4月～9月)	2025年3月期 第2四半期実績 (4月～9月)	前期比 (金額)	前期比 (比率)		2025年3月期 予想	対業績予想 進捗率 (比率)
売上高	20,785	22,401	+1,616	+7.8%	↑	44,300	50.6%
営業利益 (営業利益率)	1,219 (5.9%)	1,490 (6.7%)	+271 (+0.8P)	+22.3%	↑	3,360 (7.6%)	44.3%
当社株主に帰属する 中間利益	530	578	+48	+9.0%	↑	1,370	42.2%
受注高	21,666	25,004	+3,338	+15.4%	↑	DC事業 除き 43,300	-
<参考 DC事業除き受注高>	<18,098>	<20,404>	<+2,306>	<+12.7%>		<43,300>	<47.1%>

※ <>内はデータセンター事業（DC事業）を除いた受注高について記載

# 受注高 | 増減内訳 (2025年3月期 第2四半期実績)

日本国内の各分野が好調。海外においては、GTSSのデータセンター事業やSAP事業に加えて、North Americaも増加

(単位：億円)

( ) 内は為替影響の再掲



受注高	2024年3月期	2025年3月期	対前年度 増減	2025年3月期 予想	対業績予想 2024.4-9進捗率	2024年3月期	2025年3月期	対前年度 増減
	4月～9月	4月～9月				7月～9月	7月～9月	
合計	21,666	25,004	+3,338	DC事業除き 43,300	-	11,683	10,361	▲1,322
日本	8,077	8,762	+685	16,500	53.1%	4,163	4,121	▲43
再掲								
公共・社会基盤	3,648	3,898	+250	6,570	59.3%	2,002	1,690	▲313
金融	2,386	2,616	+230	5,300	49.4%	1,107	1,287	+179
法人	1,732	1,823	+91	4,050	45.0%	904	884	▲20
海外(*)	13,526	16,177	+2,650	DC事業除き 26,700	-	7,497	6,204	▲1,293
再掲								
North America	2,708	3,243	+534	8,440	38.4%	1,490	1,766	+276
EMEAL	4,499	4,785	+287	11,240	42.6%	2,268	2,238	▲30
APAC	1,648	1,739	+91	4,220	41.2%	674	797	+124
Global Technology and Solution Services (GTSS) (*)	4,672	6,410	+1,738	DC事業除き 2,800	-	3,065	1,403	▲1,662
その他	63	66	+3	100	65.6%	22	36	+14

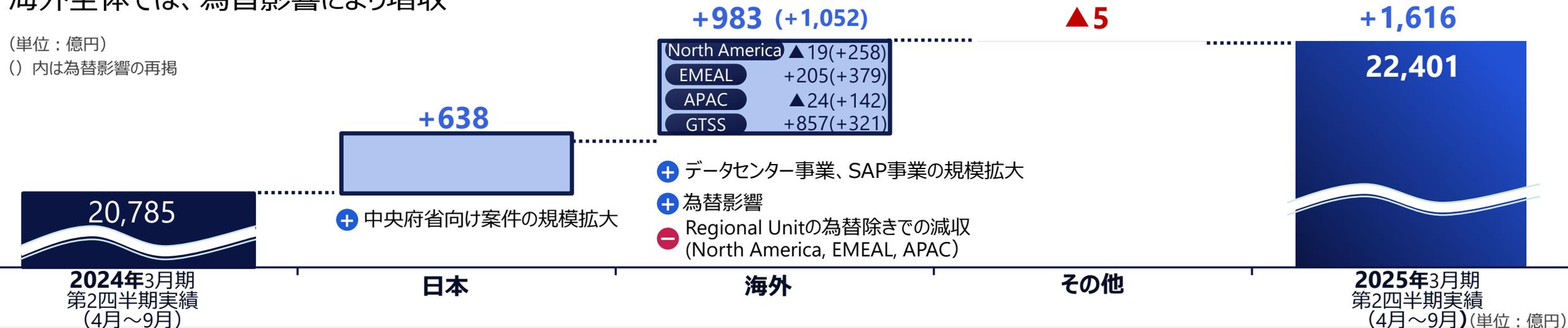
(\*) このうち、データセンター事業の受注高は、2024年3月期(4～9月)：3,568億円、2025年3月期(4～9月)：4,600億円(対前期+1,032億円)。2025年3月期予想には含まない。

# 売上高 | 増減内訳 (2025年3月期 第2四半期実績)

日本国内の各分野が好調。海外はGTSSのデータセンター事業やSAP事業が好調の一方で、各Regional Unitは減収傾向。海外全体では、為替影響により増収

(単位：億円)

( ) 内は為替影響の再掲



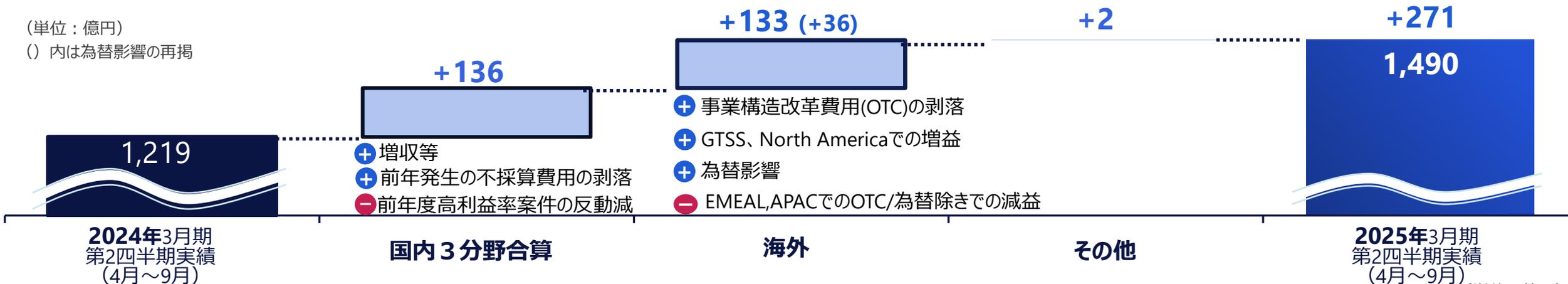
売上高	2024年3月期	2025年3月期	対前年度 増減	2025年3月期 予想	対業績予想 2024.4-9進捗率	2024年3月期	2025年3月期	対前年度 増減
	4月～9月	4月～9月				7月～9月	7月～9月	
合計	20,785	22,401	+1,616	44,300	50.6%	10,636	11,280	+644
日本	8,228	8,866	+638	18,400	48.2%	4,175	4,654	+479
再掲								
公共・社会基盤	3,049	3,472	+423	7,580	45.8%	1,582	1,851	+269
金融	3,306	3,465	+160	7,270	47.7%	1,650	1,771	+122
法人	2,634	2,790	+156	5,780	48.3%	1,332	1,466	+135
海外	12,729	13,712	+983	26,500	51.7%	6,547	6,736	+190
再掲								
North America	3,380	3,362	▲19	6,670	50.4%	1,717	1,666	▲51
EMEAL	4,740	4,945	+205	9,980	49.5%	2,410	2,411	+1
APAC	1,878	1,854	▲24	4,140	44.8%	960	925	▲35
Global Technology and Solution Services (GTSS)	3,331	4,188	+857	7,460	56.1%	1,752	2,032	+280
その他	▲172	▲177	▲5	▲600	-	▲86	▲110	▲24

# 営業利益 | 増減内訳 (2025年3月期 第2四半期実績)

日本国内・海外ともに増益。日本国内には不採算費用の剥落、海外には海外事業構造改革費用の剥落が含まれている。

(単位：億円)

( ) 内は為替影響の再掲



営業利益 (営業利益率)	2024年3月期 4月～9月		2025年3月期 4月～9月		対前年度 増減	2025年3月期 対業績予想 2024.4-9月進捗率		2025年3月期 対前年度 増減	
	2024年3月期 4月～9月	2025年3月期 4月～9月	2024年3月期 7月～9月	2025年3月期 7月～9月		2024年3月期 7月～9月	2025年3月期 7月～9月	2024年3月期 7月～9月	2025年3月期 7月～9月
合計	1,219	1,490	636	904	+271	44.3%	44.3%	+268	
国内3分野合算(*)	937	1,073	483	622	+136	45.3%	45.3%	+139	
再掲 公共・社会基盤	308 (10.1%)	429 (12.3%)	152 (9.6%)	261 (14.1%)	+121 (+2.3P)	45.6%	45.6%	+109 (+4.5P)	
再掲 金融	350 (10.6%)	335 (9.7%)	178 (10.8%)	183 (10.3%)	▲14 (▲0.9P)	41.4%	41.4%	+5 (▲0.4P)	
再掲 法人	280 (10.6%)	309 (11.1%)	152 (11.4%)	177 (12.1%)	+29 (+0.4P)	49.9%	49.9%	+25 (+0.6P)	
海外	342 (2.7%)	475 (3.5%)	192 (2.9%)	300 (4.5%)	+133 (+0.8P)	36.8%	36.8%	+108 (+1.5P)	
その他	▲61	▲58	▲39	▲18	+2	-	-	+20	

(\*) 公共・社会基盤、金融、法人分野の合計値

# 海外セグメントの業績内訳

(単位：億円)

		2024年3月期 4月～9月	2025年3月期 4月～9月	前期比 (金額)	為替影響 <sup>(*)4</sup> 除き		前期比 (比率)	2025年3月期 予想	対業績 予想進捗率	2024年3月期 7月～9月	2025年3月期 7月～9月	前期比 (金額)
					為替影響 <sup>(*)4</sup> 除き	為替影響 <sup>(*)4</sup>						
<b>売上高</b>		<b>12,729</b>	<b>13,712</b>	<b>+983</b>	<b>▲69</b>	<b>+1,052</b>	<b>+7.7%</b>	<b>26,500</b>	<b>51.7%</b>	<b>6,547</b>	<b>6,736</b>	<b>+190</b>
再掲	North America	3,380	3,362	▲19	▲276	+258	▲0.5%	6,670	50.4%	1,717	1,666	▲51
	EMEAL	4,740	4,945	+205	▲174	+379	+4.3%	9,980	49.5%	2,410	2,411	+1
	APAC	1,878	1,854	▲24	▲166	+142	▲1.3%	4,140	44.8%	960	925	▲35
	Global Technology and Solution Services (GTSS)	3,331	4,188	+857	+536	+321	+25.7%	7,460	56.1%	1,752	2,032	+280
<b>EBITA<sup>(*)1</sup> (*2) (EBITA率)</b>		<b>579 (4.6%)</b>	<b>734 (5.4%)</b>	<b>+155 (+0.8p)</b>	<b>+99</b>	<b>+56</b>	<b>+26.8%</b>	<b>1,780 (6.7%)</b>	<b>41.3%</b>	<b>318 (4.9%)</b>	<b>427 (6.3%)</b>	<b>+108 (+1.5p)</b>
再掲	North America	140 (4.1%)	211 (6.3%)	+72 (+2.2p)	+56	+16	+51.5%	400 (6.0%)	52.8%	67 (3.9%)	135 (8.1%)	+68 (+4.2p)
	EMEAL	168 (3.5%)	202 (4.1%)	+34 (+0.5p)	+18	+15	+20.0%	710 (7.1%)	28.4%	110 (4.6%)	116 (4.8%)	+6 (+0.3p)
	APAC	179 (9.5%)	148 (8.0%)	▲31 (▲1.6p)	▲43	+11	▲17.5%	400 (9.7%)	36.9%	92 (9.6%)	79 (8.5%)	▲13 (▲1.1p)
	Global Technology and Solution Services	286 (8.6%)	379 (9.0%)	+93 (+0.5p)	+64	+29	+32.6%	840 (11.3%)	45.1%	160 (9.1%)	218 (10.7%)	+58 (+1.6p)
<b>受注高<sup>(*)3</sup></b>		<b>13,526</b>	<b>16,177</b>	<b>+2,650</b>	<b>+1,409</b>	<b>+1,241</b>	<b>+19.6%</b>	<b>DC事業除き 26,700</b>	<b>-</b>	<b>7,497</b>	<b>6,204</b>	<b>▲1,293</b>
再掲	North America	2,708	3,243	+534	+286	+249	+19.7%	8,440	38.4%	1,490	1,766	+276
	EMEAL	4,499	4,785	+287	▲80	+367	+6.4%	11,240	42.6%	2,268	2,238	▲30
	APAC	1,648	1,739	+91	▲42	+133	+5.5%	4,220	41.2%	674	797	+124
	Global Technology and Solution Services <sup>(*)3</sup>	4,672	6,410	+1,738	+1,246	+492	+37.2%	DC事業除き 2,800	-	3,065	1,403	▲1,662

(\*)1) EBITA = 営業利益 + 買取に伴うPPA無形固定資産の償却費等

(\*)2) 事業統合費用の年間300億円の計画値は、海外セグメント全体の2025年3月期予想1,780億円にのみ含む。実績値は、各Unitに計上され、2025年3月期4月～9月のEBITAには、全体で55億円、North America 3億円、EMEAL 10億円、APAC 4億円、Global Technology and Solutions Services 1億円の費用を含む。

(\*)3) このうち、データセンター事業の受注高は、2024年3月期(4月～9月)：3,568億円、2025年3月期(4月～9月)：4,600億円(対前期+1,032億円)。2025年3月期予想には含まない。

(\*)4) 為替影響は、全Unit共通で、USD建実績値を円換算した際の、当年度と前年度の為替レート差による影響額を表示。USD為替レート(期中平均レート)は2024年3月期4月～9月：141.06円、2025年3月期4月～9月：152.78円。

# 2

## 日本セグメントの状況

1. 2025年3月期 第2四半期実績

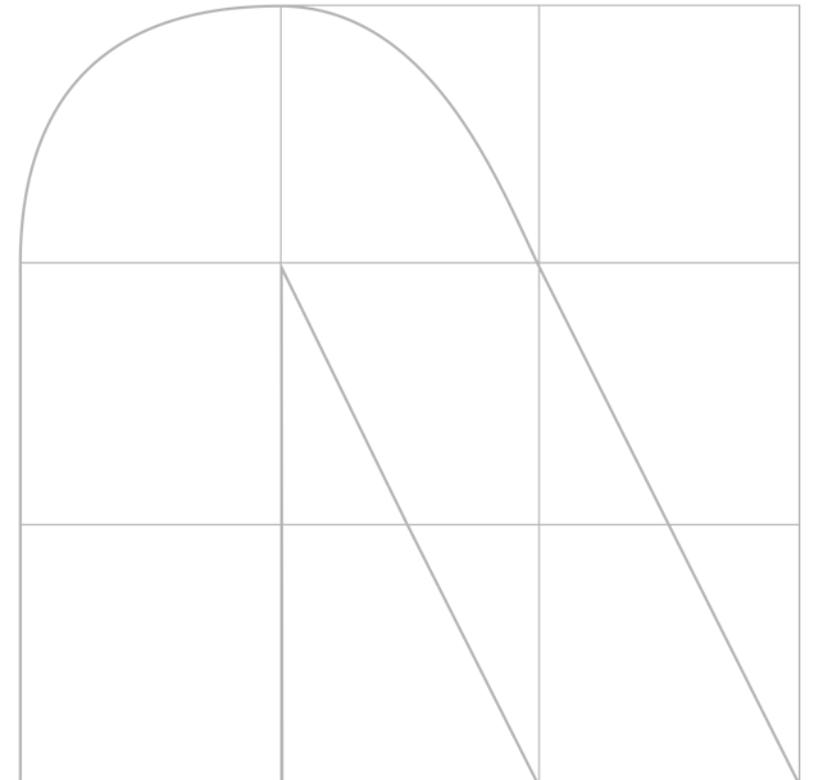
2. 日本セグメントの状況

- 事業環境
- 国内データセンターにおけるソブリンクラウドニーズへの対応

3. 海外セグメントの状況

4. 全社共通取り組みの状況

5. 巻末資料



# 日本セグメントの状況

## 事業環境

### 公共・社会基盤

#### ■ 外部環境

「デジタル社会の実現に向けた重点計画」などを契機に、官民連携や社会課題解決を目的とした日本政府のIT投資が増加基調にある。また、マイナンバーカード関連事業、国・地方自治体のシステム共通化、各府省の事業や準公共各分野（健康・医療・介護、教育、防災等）におけるDX化の更なる推進が期待される。

#### ■ 当社の状況

上半期においては、複数の中央府省向け大型案件により増収を達成。下半期においても、お客様の堅調な投資需要を確実に獲得することで、更なる成長を目論む。

### 金融

#### ■ 外部環境

大手金融機関では、顧客接点及び顧客体験の強化や業界の枠を超えた金融サービス実現のためのITサービス投資が増加。地域金融機関では、IT投資は横ばいであるが、地銀再編による新たなIT投資や勘定系システムオープン化に向けた動きの拡大が期待される。

#### ■ 当社の状況

上半期においては、大手金融機関向け案件の拡大が増収を牽引。

### 法人

#### ■ 外部環境

製造業・小売業を始めとするすべてのインダストリで、DXや生成AI、サステナビリティ関連の事業機会は堅調に拡大。企業の経営課題は多様化しており、その解決のための方策も多様化する中、コンサルティング力・エンジニアリング力をベースに、ワンストップで顧客の経営課題の解決を能動的にサポートすることが求められている。

#### ■ 当社の状況

上半期では、お客様の戦略パートナーとしての貢献に注力し、幅広い業界向けにビジネス展開。

# 日本セグメントの状況

## 国内データセンターにおけるソブリンクラウドニーズへの対応

- 経済安全保障に関する危機感の高まりからくるソブリンニーズの加速や、生成AIなどを活用したプライベートAI環境ニーズの高まりから新たな選択肢が求められており、**ソブリン環境下でのサービス強化**を実施
- 「Oracle Alloy」を採用し、当社データセンター内で運用しているソブリンクラウド「OpenCanvas」のサービスラインナップを拡充。**豊富なクローズドネットワーク**をあわせて活用し、よりソブリンティの高いサービスを提供
- 「OpenCanvas」関連ビジネスにおいて、**2030年度までに1,000億円の売上**を目指す

### ソブリン環境下でのサービスの強化

#### 従来

高セキュア  
高SLA

柔軟な運用

セキュリティ

閉域NW接続

顧客監査要件

NTT Data  
独自アセット

#### 拡張

アジリティ  
先進性・拡張性

DevOps

HPC・コンテナ

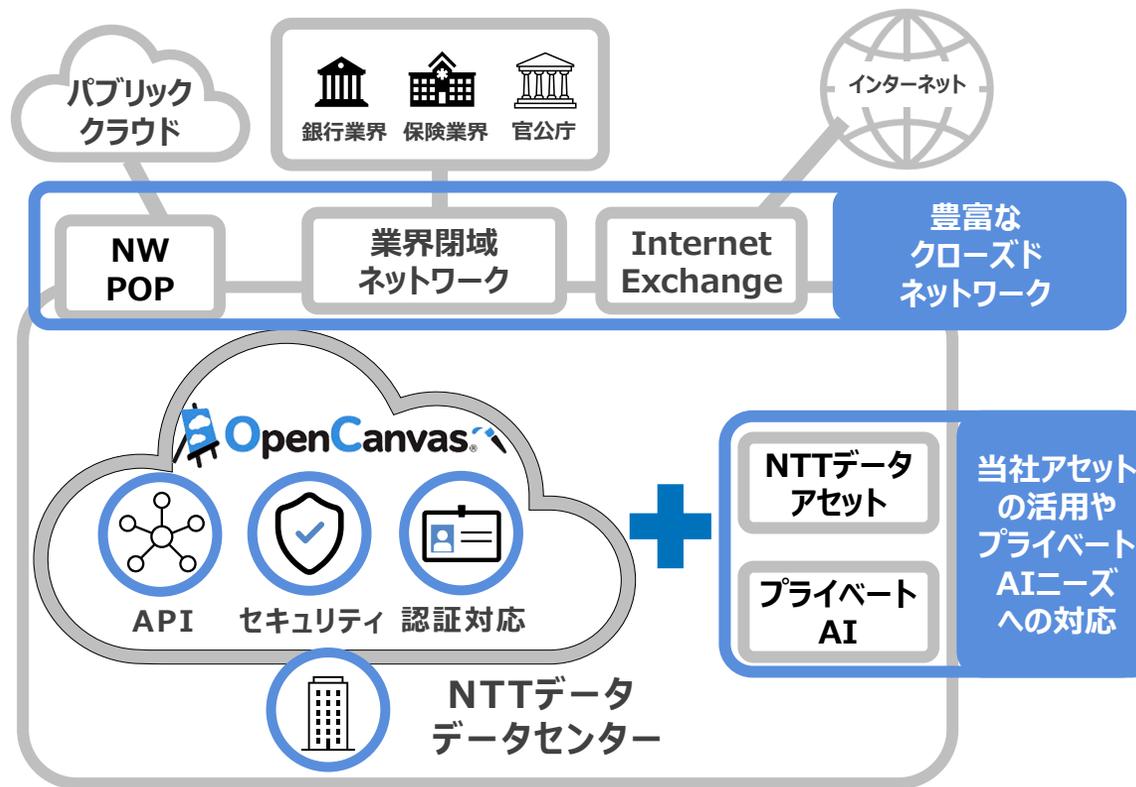
データ分析

プロセス自動化

ORACLE  
Alloy



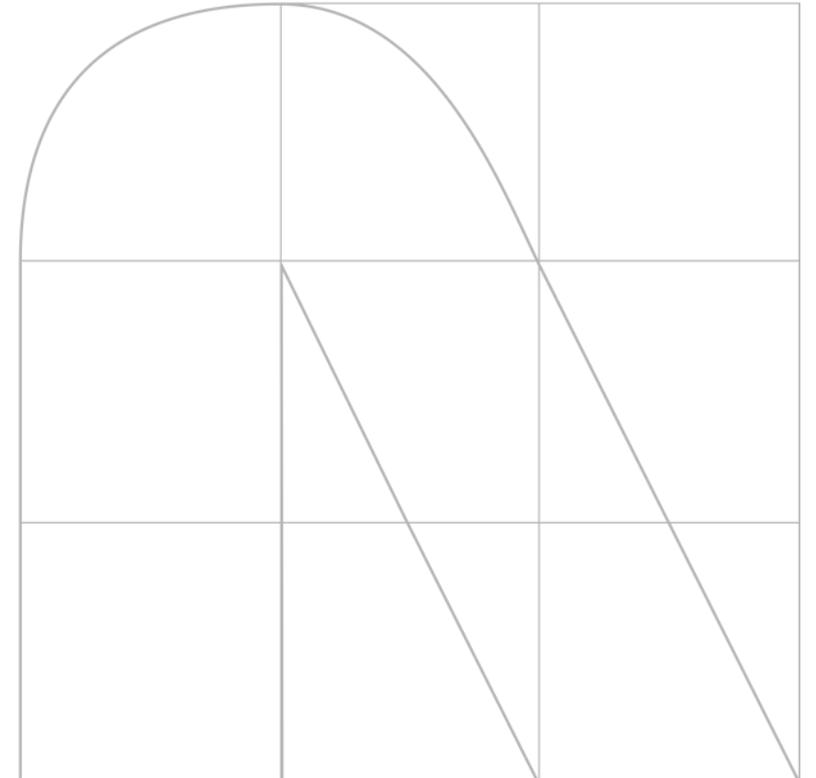
### クローズドネットワークを活用したソブリンティの高いサービス提供



# 3

## 海外セグメントの状況

1. 2025年3月期 第2四半期実績
2. 日本セグメントの状況
- 3. 海外セグメントの状況**
  - 事業環境
  - データセンター事業の投資・受注等の状況
  - データセンター事業の収支状況
  - 海外事業統合の進捗状況
4. 全社共通取り組みの状況
5. 巻末資料



# 海外セグメントの状況 事業環境

## North America

### ■ 外部環境

米国のIT業界は、AI、Cloud Computing、Security等の領域が牽引して成長が続いているが、同時に、インフレ動向の不確実性による企業の投資手控え、適切なスキルセットを持つ人財の不足などの成長阻害要因も内在している。

### ■ 当社の状況

上半期は、ヘルスケア分野等での大型案件の剥落や、通信端末機器販売の減少により減収。一方で、新規案件・拡大案件の受注パイプラインは、複数の大型案件により期初から大きく増加しており、引き続き目標達成を目指し取り組む。

## EMEA

### ■ 外部環境

ヨーロッパは、平均GDP成長率予測は低いがIT投資は堅調。国別では、スペインは製造業が堅調でIT投資も旺盛の一方、ドイツは製造業、特に自動車業界でのIT投資が抑制傾向。南米は、平均GDP成長率予測は低いがIT需要は旺盛である。

### ■ 当社の状況

スペイン・南米は好調の一方、景気影響もありUK・ドイツは減収。新規の受注パイプラインを創出し、受注率を上げる取り組みを継続していく。

## APAC

### ■ 外部環境

IT市場は持続的に成長、特にCybersecurityは企業の優先対応事項であり需要が旺盛。一方で、オーストラリア等のGDP成長率は低水準で、APAC全体でも、インフレや為替変動などの不確実性が、企業のIT投資にマイナス影響を与える可能性がある。

### ■ 当社の状況

オーストラリア・シンガポール・インドの事業規模が大きく、その内、シンガポールは好調なものの、オーストラリアは特定顧客の失注等の影響により減収。オーストラリアでは、新しい経営体制による立て直しを実行中。

## Global Technology and Solution Services (GTSS)

### ■ 外部環境

データセンター事業の需要は、生成AIにより20%以上\*の追加成長が見込まれている。また、SAP事業は企業のクラウドERPへの移行需要が引き続き旺盛であることと、生成AIを活用したソリューション等への期待もあり高い成長率が期待されている。

### ■ 当社の状況

上半期では、データセンター事業、SAP事業が好調。下半期においても順調な成長を目標とする。

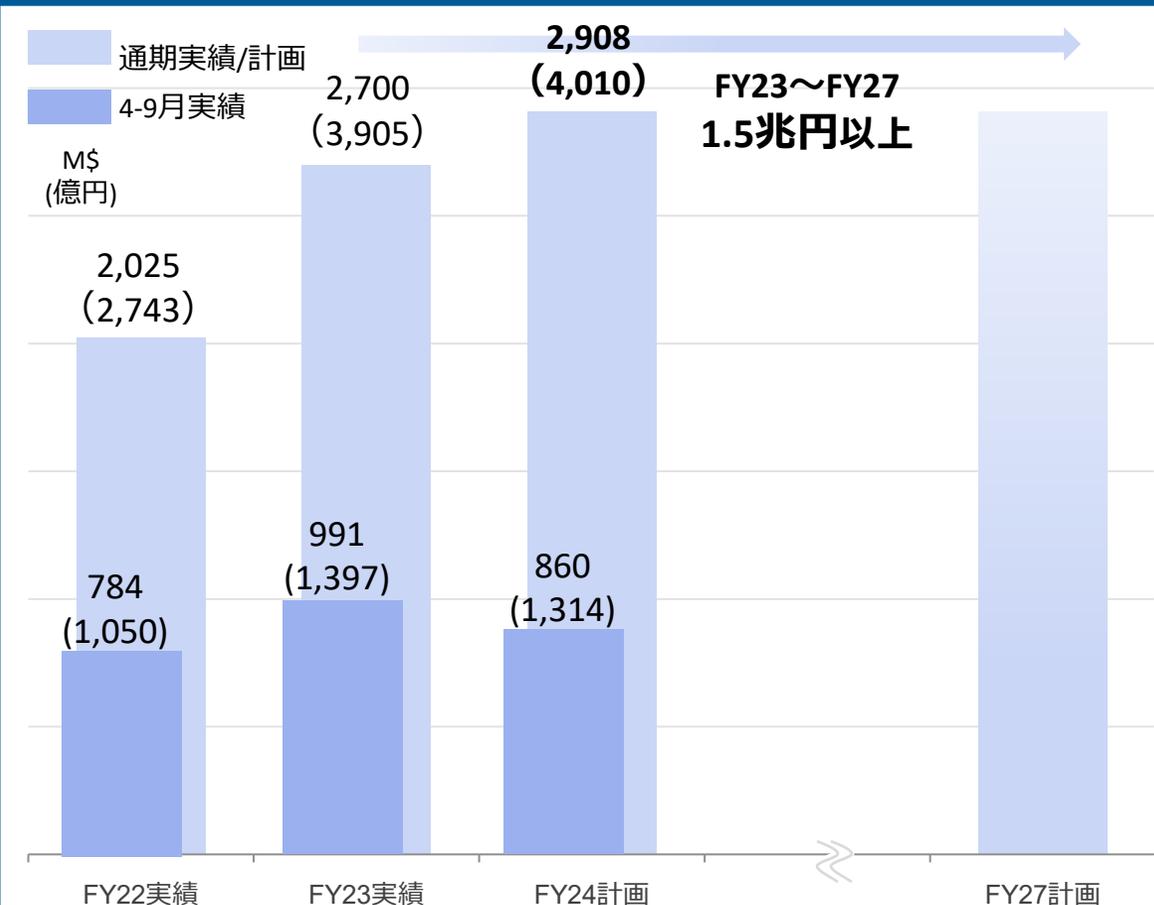
\*市場調査を基にしたNTT予測

# 海外セグメントの状況

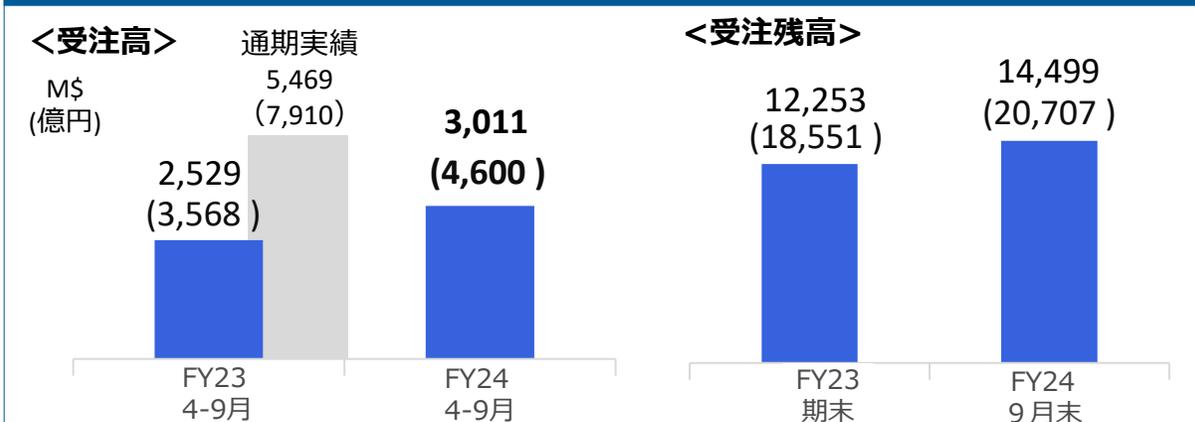
## データセンター事業の投資・受注等の状況

- 2024年度通期の投資計画は**2,908M\$**。上半期の投資実績は **860M\$** (1,314億円、進捗率約30%) であるが、想定通りに進捗
- 上半期ではハイパースケラー向けの受注が好調。受注実績は **3,011M\$** (4,600億円、対前期比+482M\$)
- 2024年度通期で10棟、約410MWを提供開始予定。上半期では、**4棟、約180MW**を提供開始

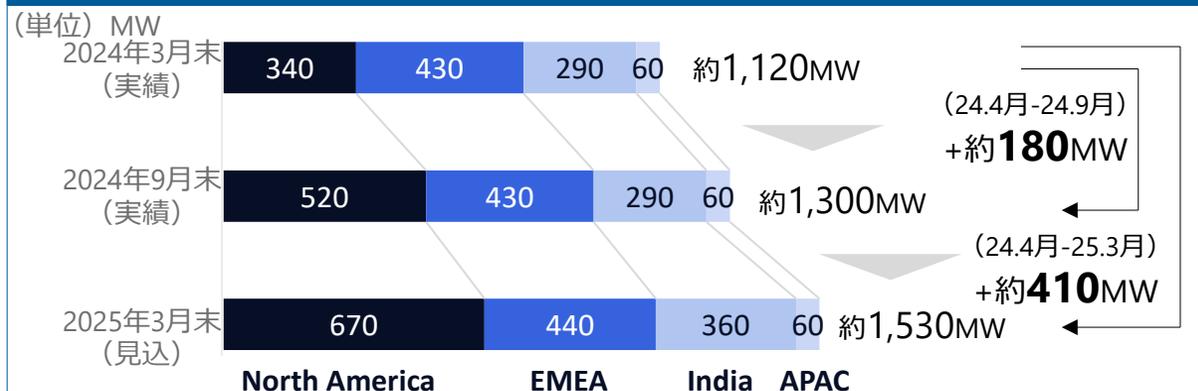
### データセンター投資の推移



### 受注高・受注残高の推移



### サービス提供状況



# 海外セグメントの状況

## データセンター事業の収支状況

- 上半期の売上高は**1,190M\$**（対前期比+340M\$）、EBITDAは**407M\$**（対前期比+80M\$）
- 2027年度のEBITDAについて**1,400M\$超**（1,900億円超）を目指す

	売上高		EBITDA <EBITDAマージン>			営業利益 <営業利益率>		
<b>FY24 4-9月</b>	1,190M\$	(1,818億円)	407M\$	(622億円)	34%	187M\$	(285億円)	16%
<b>対前期比</b>	+340M\$	(+619億円)	+80M\$	(+160億円)	▲4pt	+30M\$	(+64億円)	▲3pt

### 通期収支実績・計画(\*1)(\*2)



\*1 Global Technology Services Unitのデータセンター事業部門の収支を計算するための管理会計上の数値。親会社であるNTT及び当社グループとの会社間取引を含み、Global Technology Services Unitのその他事業との共通費用の配分など一定の方法で算定。

\*2 EBITDA・営業利益は、有形固定資産及びソフトウェアの減価償却費、買収に伴う無形固定資産の償却費、一部の本社共通コスト等の費用を含まない数値

\*3 FY22の一過性要因 (62M\$) は、データセンターの長期リース契約に伴う一括収益の計上によるもの

\*4 FY23の一過性要因 (108M\$) は、データセンター売却によるもの

# 海外セグメントの状況

## 海外事業統合の進捗状況

- 上半期は、ITシステムの最適化を中心に進め、2025年度のシナジー効果創出に向け順調に進捗
- 下半期は、事業ポートフォリオ変革やコーポレート機能最適化を中心に取り組む



### 上半期実績

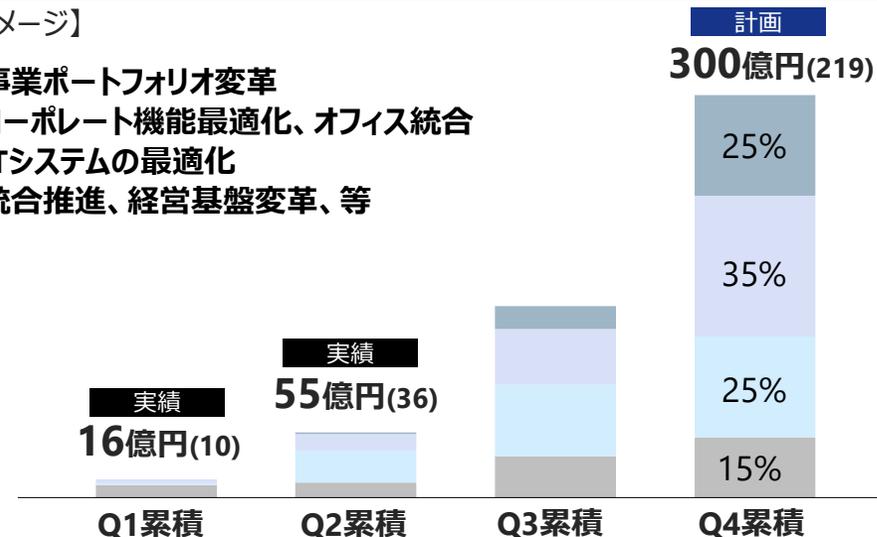
ITシステムの最適化を中心に実施

<Unit別内訳>	FY24.上半期	FY24.4月~6月	FY24.7月~9月
North America	3億円 (2.2)	3億円	-
EMEAL	10億円 (6.6)	3億円	7億円
APAC	4億円 (2.9)	1億円	3億円
Global Technology and Solution Services	1億円 (0.9)	1億円	-
HQ等	37億円 (24)	7億円	30億円

### 計画の考え方・イメージ

【支出イメージ】

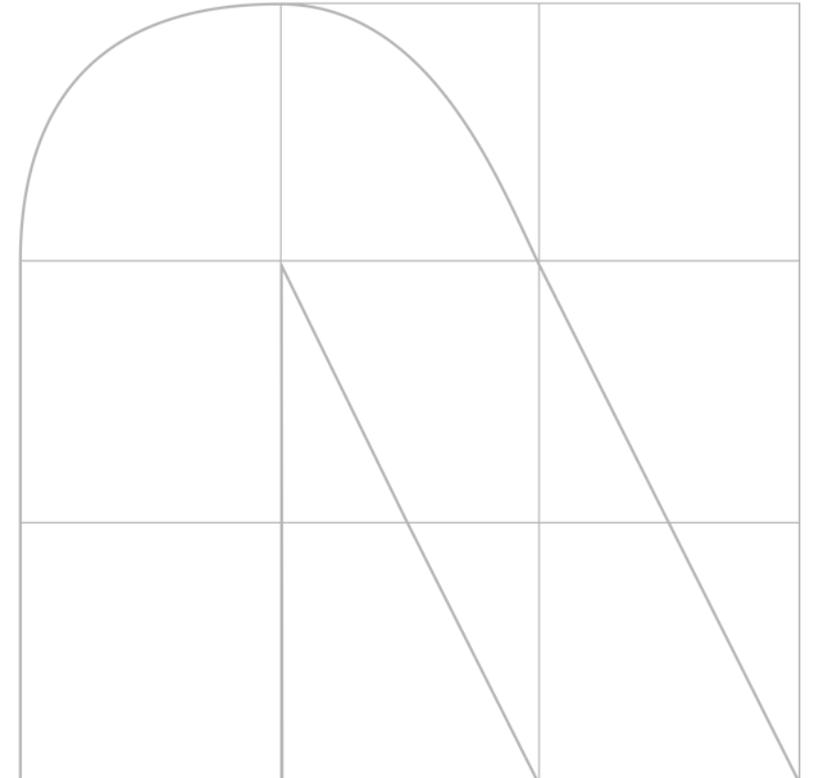
- : 事業ポートフォリオ変革
- : コーポレート機能最適化、オフィス統合
- : ITシステムの最適化
- : 統合推進、経営基盤変革、等



# 4

## 全社共通取り組みの状況

1. 2025年3月期 第2四半期実績
2. 日本セグメントの状況
3. 海外セグメントの状況
4. **全社共通取り組みの状況**
  - ・ 財務健全性確保に向けた取り組み状況
  - ・ 生成AIに関するグローバルでの新たな取り組み
  - ・ GHG総排出量の状況
5. 巻末資料



# 全社共通取り組みの状況

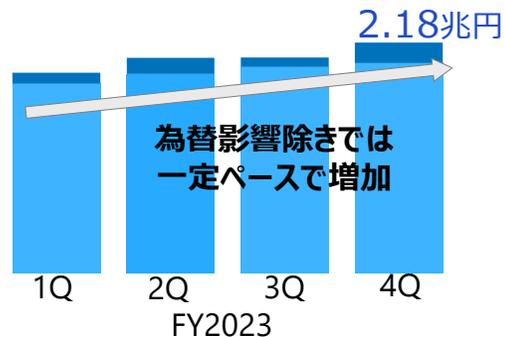
## 財務健全性確保に向けた取り組み状況

- 第2四半期の連結有利子負債残高は2.4兆円（対前期末+2,114億円、うち為替影響▲1,095億円）、金融損益等は、▲392億円（対FY23Q2▲129億円）であり、**想定通りの進捗**
- 下半期以降の金融損益等の改善に向けて、**金利の固定化**や**円建借入金への借り換え**を実行
- 有利子負債増加を抑制するためのREIT活用（2025年度予定）等の取組は継続検討中

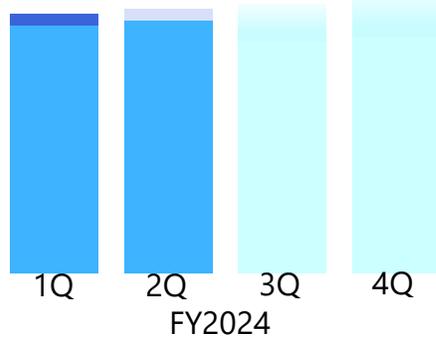
### 有利子負債、金融損益等

#### 【連結有利子負債残高の推移】

- 前期末からの増加分のうち、為替影響(増加)
- 前期末からの増加分のうち、為替影響(減少)



FY24Q2末  
有利子負債残高※  
2.39兆円



#### 【金融損益等の推移】

FY23実績  
▲609億円

FY24業績予想  
▲810億円  
(FY24Q2実績 ▲392億円)

### 金融損益等の改善に向けた取り組み

#### 支払利息の抑制策：

- 外貨建変動金利借入金について、金利の固定化（新規調達分を含む）を実行。  
約25億円/FY24影響の**支払利息軽減**を見込む。
- データセンター事業を実施するグループ各社の一部の外貨建借入金について、相対的に低利な円建借入金に借り換え。（10月）  
約35億円/FY24影響の**支払利息軽減**を見込む。

※FY24Q2末時点の連結有利子負債残高の内訳：通貨別ではドル建約50%・その他の外貨建約20%・円建約30%。変動・固定別では、全体の約50%弱が変動金利での借入。

＜当社が描く生成AI活用の将来像＞

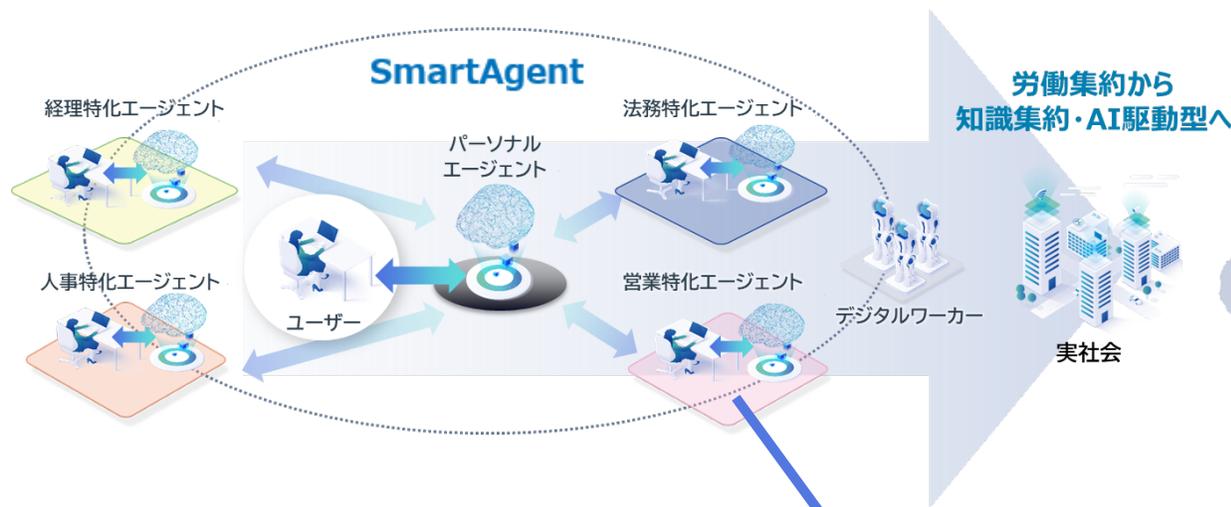
## お客様・当社のビジネスを労働集約型からAI駆動型へ

1 「SmartAgent」のコンセプト実現により、人財・労働力不足の解決に寄与する

2 20万人の全社員に生成AIリテラシーを教育するとともに、実践的AI人財をグローバルで3万人育成する

1

パーソナルエージェント  
が新たな労働力を提供  
する「SmartAgent」



グローバルで事業を拡大中

■ 新規受注

- 某自動車メーカー（海外）
- 官公庁（国内）

■ 提案中

- 大手銀行（海外）
- 製薬業（国内）
- 通信業（国内）、他多数

2

AI活用  
人財の拡大

実践的AI人財の育成 — 3万人  
(2026年度までの目標)

基礎的な生成AIの教育 — 20万人

SmartAgentの新サービスとして、  
営業に特化した「LITRON Sales」を日本国内で  
提供開始

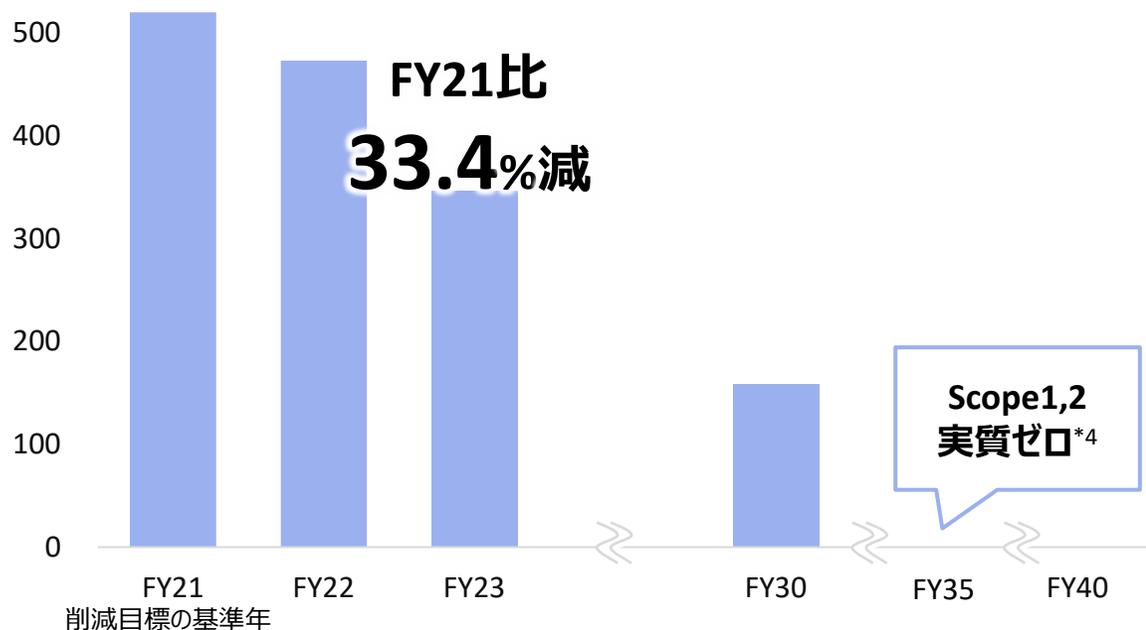
# 全社共通取り組みの状況

## GHG総排出量の状況

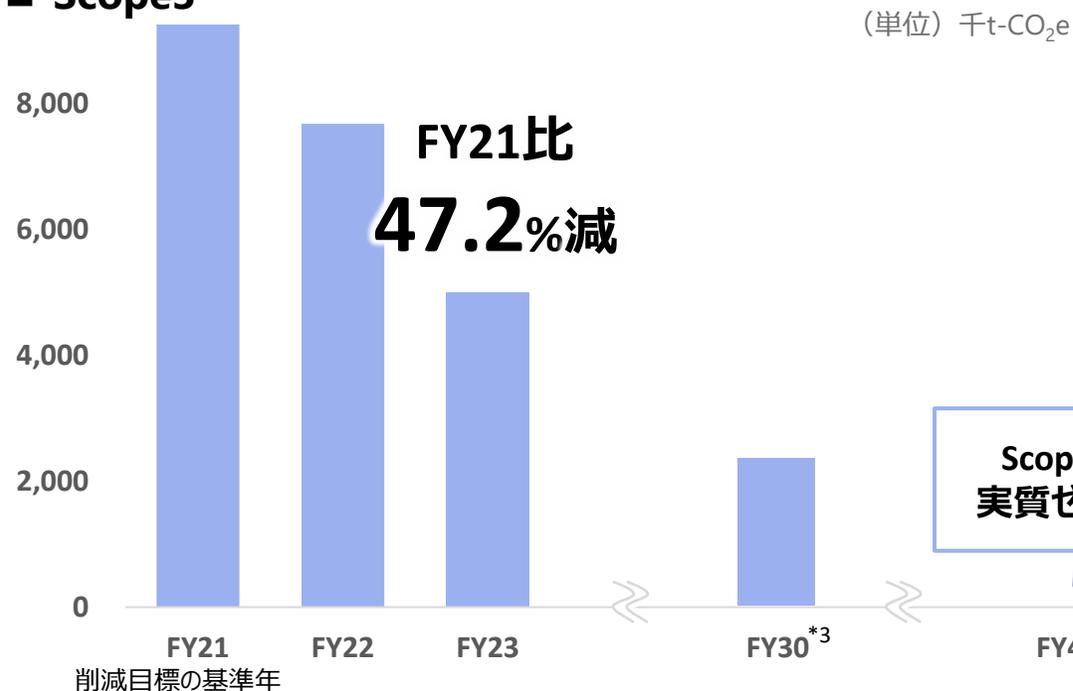
- 2023年度のGHG総排出量について、Scope1,2で33.4%、Scope3で47.2%削減（2021年度比）
- データセンター事業を拡大していく中においても、2040年のNet-Zero（Scope1, 2, 3全てのGHG排出量実質ゼロ）実現に向け、引き続きエネルギーの効率化、再生可能エネルギーの導入の推進、ITシステムの脱炭素化等に取り組む

### 当社グループにおけるGHG総排出量の状況<sup>\*1</sup>

#### ■ Scope1,2<sup>\*2</sup>



#### ■ Scope3



\*1 各年度の値はNTT Ltd.を含む。2022年度以前は海外事業統合前であるため、実際のバウンダリーには含まれないが、本資料では排出量削減を比較するため含めて掲載

\*2 Scope2は、電力会社別の調達量及びその排出係数等に基づき算定したマーケットベースの数値

\*3 Scope3は、ベースライン及び目標値の見直しについて検討中であり、本グラフにおけるFY30目標値は見直し後イメージ

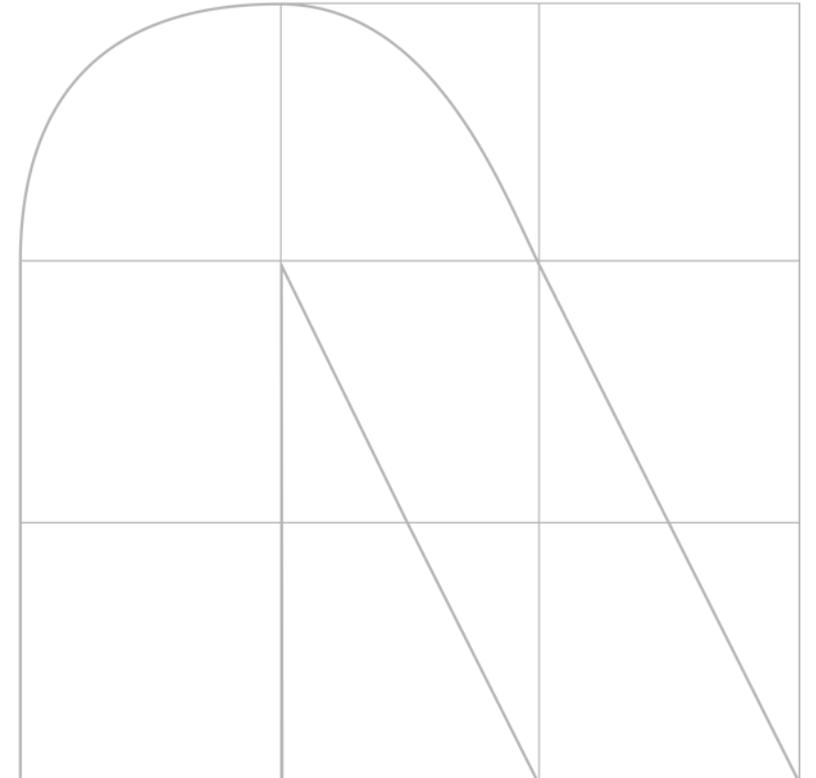
\*4 自社のオペレーションにおける直接・間接排出量（Scope1・2）について、データセンターでは2030年、オフィス・その他を含めた自社全体では2035年までの実質ゼロ、Scope3を含めたサプライチェーン全体については、2040年までの実質ゼロを目指す

# 5

## 巻末資料 - 決算・業績予想値の詳細 -

1. 2025年3月期 第2四半期実績
2. 日本セグメントの状況
3. 海外セグメントの状況
4. 全社共通取り組みの状況
5. 巻末資料

為替レート／連結業績／売上高（連結）／受注高・受注残高（連結）  
／四半期情報（連結）／連結財政状態計算書  
／データセンター事業（海外セグメント）の状況



# 為替レート

・USD為替レート ※為替影響は、全Unit共通で、USD建実績値を円換算した際の、当年度と前年度の為替レート差による影響額を表示。

単位 (円)

通貨	2024年3月期 第1四半期 期中平均レート (2023年4月-6月)	2024年3月期 第2四半期 期中平均レート (2023年4月-9月)	2024年3月期 第3四半期 期中平均レート (2023年4月-12月)	2024年3月期 通期 期中平均レート (23年4月-24年3月)	2025年3月期 第1四半期 期中平均レート (2024年4月-6月)	2025年3月期 第2四半期 期中平均レート (2024年4月-9月)	2025年3月期 通期 業績予想レート (24年4月-25年3月)
USD/JPY	137.49	<b>141.06</b>	143.33	144.65	155.85	<b>152.78</b>	138.00

・参考：EUR為替レート

単位 (円)

通貨	2024年3月期 第1四半期 期中平均レート (2023年4月-6月)	2024年3月期 第2四半期 期中平均レート (2023年4月-9月)	2024年3月期 第3四半期 期中平均レート (2023年4月-12月)	2024年3月期 通期 期中平均レート (23年4月-24年3月)	2025年3月期 第1四半期 期中平均レート (2024年4月-6月)	2025年3月期 第2四半期 期中平均レート (2024年4月-9月)	2025年3月期 通期 業績予想レート (24年4月-25年3月)
EUR/JPY	149.58	<b>153.45</b>	155.32	156.82	167.85	<b>166.07</b>	150.00

参考：為替感応度 ※「2024年3月期 決算説明資料：P18\_2025年3月期 業績予想の前提」より引用

「2025年3月期通期業績予想レート」から1円変動した場合のFY24通期業績予想への影響額  
(円安：プラス、円高：マイナス)

USD 売上高 約 ±110億円、EBITA 約 ±7億円

EUR 売上高 約 ± 80億円、EBITA 約 ±6億円

# 連結業績

(単位：億円)

	2024年3月期 第2四半期実績 (4月～9月)	2025年3月期 第2四半期実績 (4月～9月)	前期比 (金額)
受注高 <sup>(*1)</sup>	21,666	25,004	+3,338
DC事業以外	18,098	20,404	+2,306
DC事業	3,568	4,600	+1,032
受注残高 <sup>(*1)</sup>	53,611	60,741	+7,130
DC事業以外	38,517	40,034	+1,517
DC事業	15,094	20,707	+5,613

売上高	20,785	22,401	+1,616
売上原価	15,192	16,350	+1,158
売上総利益	5,594	6,051	+458
販売費及び一般管理費	4,375	4,561	+186
人件費	2,203	2,398	+195
作業委託費	859	859	+0
経費等その他	1,313	1,304	▲8
営業利益	1,219	1,490	+271
営業利益率(%)	5.9	6.7	+0.8P
金融収益・費用／持分法投資損益	▲263	▲392	▲129
税引前当期利益	955	1,098	+143
法人所得税費用等 <sup>(*2)</sup>	425	520	+95
当社株主に帰属する当期利益	530	578	+48

設備投資	2,523	2,546	+22
減価償却費等 <sup>(*3)</sup>	1,381	1,496	+115

(\*1) 2025年3月期予想の受注高及び受注残高には、データセンター（DC）事業の数値を含まない  
 (\*2) 「法人所得税費用等」には、「法人所得税費用」及び「非支配持分に帰属する当期利益」を含む  
 (\*3) 2020年3月期以降はリース償却費を含めずに算出

	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	前期比 (金額)
	47,909	<b>DC事業除き</b> 43,300	-
	39,999	43,300	+3,301
	7,910	-	-
	58,596	<b>DC事業除き</b> 42,630	-
	40,045	42,630	+2,585
	18,551	-	-

	43,674	44,300	+626
	31,724	32,100	+376
	11,950	12,200	+250
	8,854	8,840	▲14
	4,639		
	1,839		
	2,376		
	3,096	3,360	+264
	7.1	7.6	+0.5P
	▲609	▲810	▲201
	2,486	2,550	+64
	1,147	1,180	+33
	1,339	1,370	+31

	6,574	6,620	+46
	2,818	3,040	+222

# 売上高（連結）

内訳詳細（外部顧客向け）

（単位：億円）

		2024年3月期 第2四半期実績 (4月～9月)	2025年3月期 第2四半期実績 (4月～9月)	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想
日本		8,048	8,702	17,184	17,800
再掲	公共・社会基盤	2,504	2,847	5,686	6,500
	中央府省・地方自治体・ヘルスケア	1,336	1,685	3,235	3,950
	テレコム・ユーティリティ	634	625	1,312	1,310
	金融	2,756	2,873	5,755	5,760
	大手金融機関	1,074	1,108	2,238	2,330
	地域金融機関	866	865	1,802	1,650
	決済・保険	725	751	1,504	1,580
	法人	2,423	2,576	4,917	5,230
	製造・サービス	437	565	910	1,130
	小売・消費財	533	567	1,058	1,250
コンサルティング・ペイメント	1,453	1,443	2,949	2,850	
海外		12,666	13,638	26,363	26,400

製品及びサービス別（外部顧客向け）

コンサルティング	2,450	2,822	5,376	5,500
統合ITソリューション	3,422	3,414	6,882	7,000
システム・ソフトウェア開発	3,454	3,886	7,774	7,900
メンテナンス・サポート	4,910	5,473	10,343	10,400
データセンター <sup>(*1)(*2)</sup>	1,243	1,852	2,814	3,000
通信端末機器販売等及びその他のサービス <sup>(*1)</sup>	5,306	4,953	10,485	10,500
製品及びサービス別の売上高 合計	20,785	22,401	43,674	44,300

(\*1) 2024年4月からの新たなグローバル運営体制に伴い、2025年3月期より「データセンター」「通信端末機器販売等及びその他のサービス」へ区分変更。2024年3月期実績は組替後の数値を記載

(\*2) 主にGlobal Technology Services Unitが行うデータセンター事業の数値

# 受注高・受注残高（連結）

受注高内訳詳細（外部顧客向け）

（単位：億円）

		2024年3月期 第2四半期実績 (4月～9月)	2025年3月期 第2四半期実績 (4月～9月)	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想
再掲	日本	8,077	8,762	16,467	16,500
	公共・社会基盤	3,648	3,898	6,751	6,570
	中央府省・地方自治体・ヘルスケア	2,465	2,644	4,325	4,090
	テレコム・ユーティリティ	537	508	1,182	1,240
	金融	2,386	2,616	5,277	5,300
	大手金融機関	970	1,031	2,268	2,470
	地域金融機関	892	931	1,990	1,670
	決済・保険	423	440	815	910
	法人	1,732	1,823	3,813	4,050
	製造・サービス	354	556	782	1,060
小売・消費財	463	443	923	1,140	
コンサルティング・ペイメント	915	824	2,109	1,850	
海外 <sup>(*)</sup>		13,526	16,177	31,243	<b>DC事業除き</b> 26,700

## 受注残高内訳詳細

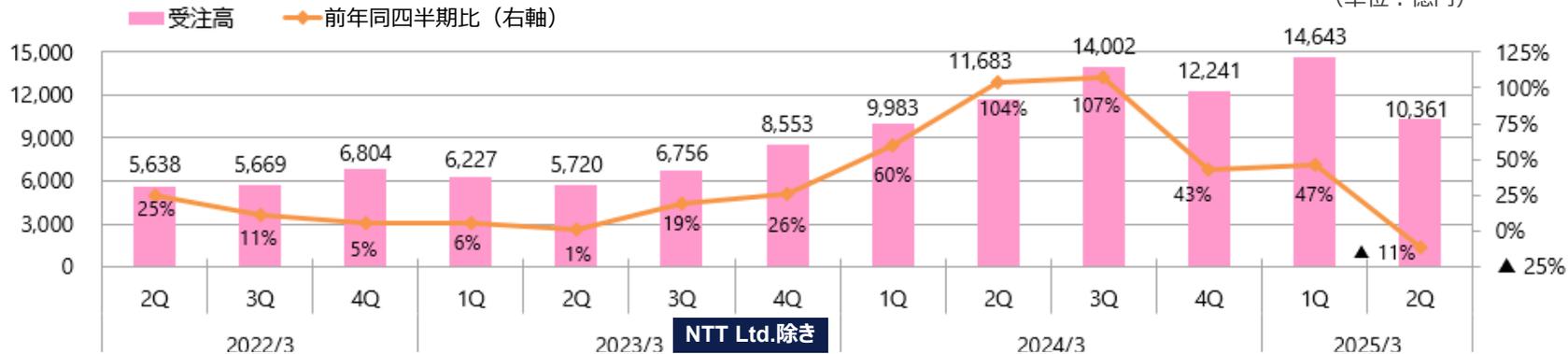
受注残高 <sup>(*)</sup>		53,611	60,741	58,596	<b>DC事業除き</b> 42,630
再掲	日本	17,315	18,941	17,641	18,710
	公共・社会基盤	6,801	7,869	6,773	6,890
	金融	8,553	8,993	8,833	9,100
	法人	1,672	1,707	1,775	1,810
海外 <sup>(*)</sup>		36,252	41,757	40,905	<b>DC事業除き</b> 23,740

(\*1) 2025年3月期予想の受注高及び受注残高には、データセンター（DC）事業の数値を含まない

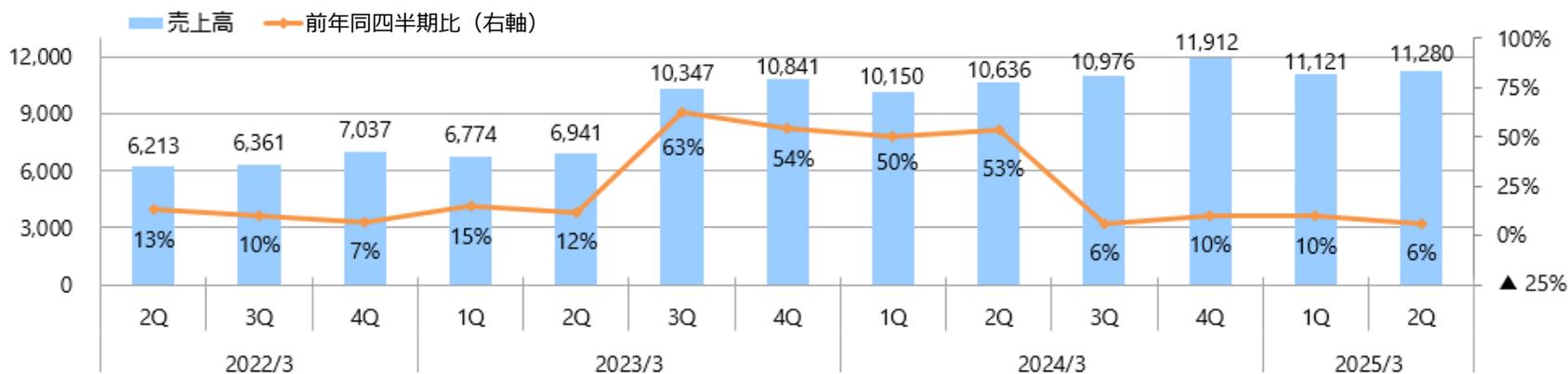
# 四半期情報 (連結)

(単位：億円)

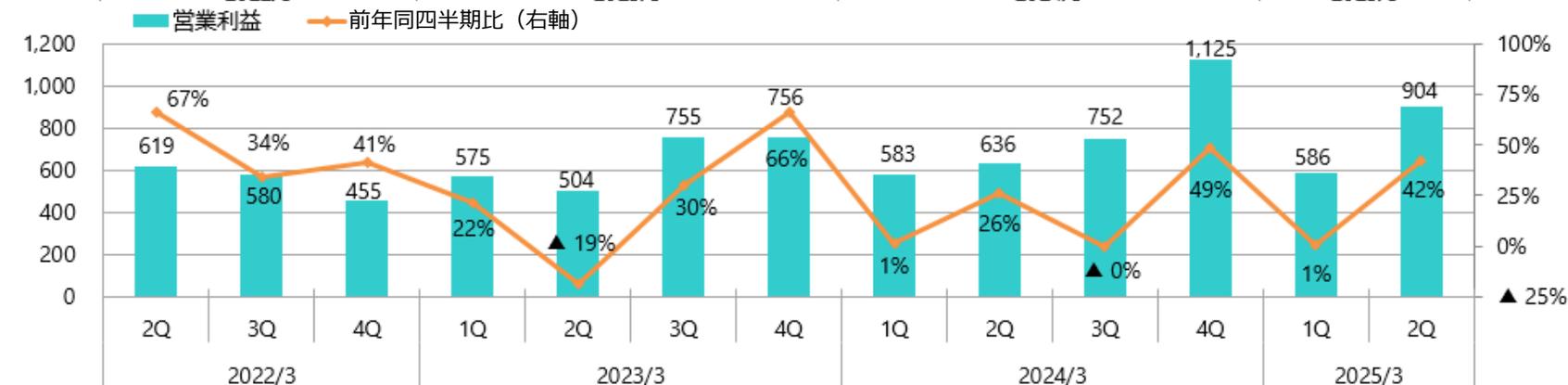
## ■ 受注高



## ■ 売上高



## ■ 営業利益



(\*) NTT Ltd.は、2023年3月期 第3四半期より連結開始。売上高、営業利益は、2023年3月期第3四半期よりNTT Ltd.の値を含む。受注高は、2023年3月期は含まず、2024年3月期より含む

# 連結財政状態計算書

内訳項目は再掲表示

(単位：億円)

	2024年3月期 期末実績	2025年3月期 第2四半期実績	前期比 増減 (金額)
<b>流動資産</b>	24,330	24,893	+564
現金及び現金同等物	4,318	4,978	+661
売掛金及び契約資産	14,341	13,612	▲729
棚卸資産	512	732	+219
売却目的保有資産	45	3	▲41
<b>非流動資産</b>	47,865	47,061	▲804
有形固定資産	19,144	19,520	+375
無形資産	6,937	6,764	▲174
のれん	13,218	13,029	▲189
その他の金融資産 (投資有価証券)	1,530	967	▲563
<b>資産合計</b>	72,194	71,954	▲240
<b>流動負債</b>	25,139	26,397	+1,258
買掛金	4,598	3,829	▲770
契約負債	4,807	4,426	▲381
社債及び借入金 (流動)	7,558	10,469	+2,911
<b>非流動負債</b>	19,251	18,180	▲1,072
社債及び借入金	14,195	13,398	▲797
リース負債 (非流動)	2,061	1,894	▲168
<b>負債合計</b>	44,390	44,576	+186
<b>当社株主に帰属する持分</b>	17,192	17,259	+67
<b>非支配持分</b>	10,612	10,119	▲493
<b>資本合計</b>	27,804	27,378	▲426
<b>負債及び資本合計</b>	72,194	71,954	▲240
<b>【再掲】有利子負債残高</b>	21,753	23,867	+2,114

# データセンター事業（海外セグメント）の状況

## ■データセンター事業の収益等\*1,\*2

(単位：億円)

	2024年3月期 第2四半期実績 (4月～9月)	2025年3月期 第2四半期実績 (4月～9月)	前期比 (金額)
受注高	3,568	4,600	+1,032
受注残高(会計期間末)	15,094	20,707	+5,613

売上高	1,198	1,818	+619
EBITDA	461	622	+160
EBITDAマージン(%)	38%	34%	-
営業利益(本社共通コスト配賦前)	221	285	+64
営業利益率(%)	18%	16%	-

投資額	1,397	1,314	▲84
-----	-------	-------	-----

	2024年3月期 期末実績	2025年3月期 第2四半期実績	前期比 (金額)
資産	21,988	22,235	+247
再掲) 非流動資産	17,508	17,915	+407
負債	18,521	18,804	+283
再掲) 有利子負債	14,515	14,620	+105

	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	前期比 (金額)
	7,910		
	18,551		

	2,703	3,021	+318
	1,216 <sup>*3</sup>	1,170	▲46
	45% <sup>*3</sup>	39%	-
	679 <sup>*3</sup>		
	25% <sup>*3</sup>		

	3,905	4,010	+105
--	-------	-------	------

FY2027 EBITDA目標

1,900億円超

FY2023-FY2027  
投資累計額

1.5兆円以上

(\*1) データセンター事業の集計対象は、Global Technology Services Unitのデータセンター事業のみであり、一定の前提に基づき算定した数値を含む社内管理値（非監査）

(\*2) 主にGlobal Technology Services Unitが行うデータセンター事業の数値

(\*3) 2024年3月期実績のEBITDA、営業利益の数字には、データセンター売却益156億円を含むこれを除いた2024年3月期実績の、EBITDAマージンは約39%、営業利益率は約19%

## ■提供MW\*2

・全体の提供状況

(単位：MW)

	2024年3月期 通期実績	2025年3月期 通期計画	第2四半期実績 (4月～9月)
提供開始	約230	約410	約180
提供中(会計期間末)	約1,120	約1,530	約1,300

・地域別の提供状況(2024年9月末)

(単位：MW)

	North America	EMEA	India	APAC	合計
提供中	約520	約430	約290	約60	約1,300
計画中	約430	約50	約210	約60	約750

**NTT DATA**